

堀割物語・第2章を私たちの手で。
柳川をもう一度、ニホンウナギの棲む郷に。



**UNAGI
COME
BACK!**

水は蘇った。
命はどうかだ。

NEXT ACTION

バイロギングがつなく
「夢の世界」へ

ウナギ再生への貴重な一歩となる
生態調査を、みんなの力で
成功させよう!



クラウドファンディング募集開始!

バイオリギングがつなぐ夢の世界

10月27日(土)・28日(日) 場所／からたち文人足湯公園 北側お掘

●全国、世界に誇る「地域の宝」の再生をめざして

母なる有明海、矢部川や筑後川、そして町中を巡る掘割という柳川独自の風土を再生し子供たちにプレゼントしたい、との思いから発足した「NPO法人SPERA森里海・時代を拓く」は、長年、有明海で調査を続けて来られた田中克・京都大学名誉教授を理事に迎え、たくさんの地域の人々と力を合わせて有明海の再生活動に取り組んできました。

柳川市との協働事業で掘割再生に取り組む中で、かつて柳川の掘割に溢れていたニホンウナギこそ、森・里・川・海をつなぐ象徴的な生き物であり、それが今や絶滅危惧種に指定されているという現実を知りました。

名物の鰻のセイロ蒸しや観光・商業に携わる皆さんからも、様々に不安の声が上がる中、環境省の森里川海プロジェクトなど全国の仲間の動きにも力を得て、「柳川をもう一度、かつてのよううなぎと子供たちのふるさとに」という大きな目標が生まれました。

ウナギはとても謎の多い生き物で、何から始めていいのか手探りのスタートでしたが、田中先生のご縁でウナギ研究の第一人者・九州大学の望岡典隆先生との出会いがあり、本格的な調査と飼育活動が始まりました。

福岡県の許可を得て矢部川、沖端川でシラスウナギの特別採捕を行い、伝習館高校の生物部員たちがクロコウナギにまで育て、タグ付けをして掘割に放流、再捕獲し

て計測後に再び放流という地道な調査を実施。その成果を、望岡先生の指導のもと伝習館高校生物部がまとめた報告は、日本水産学会で高い評価を受け、さらに今年の第20回日本水大賞の文部科学大臣賞を受賞しました。

●みんなの力で、新たな挑戦を成功へ!

そしてこの秋。いよいよ、ウナギに小型の発信機を装着して放流し、掘割の中での行動や生態をさらに詳しく調査する「バイオリギング」が、京都大学・三田村啓理先生の研究チームによって始まります。

ウナギを呼び戻すためにどのような環境整備が必要か。それを知る大切な一歩となるこの調査を前に、私たちは今、機材の調達等にかかる資金確保を目的とした「クラウドファンディング」を通じた支援募集を行っています。

一人でも多くの皆さんのお力を、ふるさと柳川の明日のために結集していただければ幸いです。ご参加をお待ちしております。

◎お誘い合わせの上、見学にお越しください。

バイオリギング調査 日程

27日	13時～17時	／現地見、機器設置、テスト
28日	9時～	／受信機設置、発信機の装着
	13時～	／ウナギ放流、追跡調査

柳川に、再びニホンウナギが舞う掘割を取り戻すために。
クラウドファンディングを通じた支援参加をお待ちしています!

支援はこちら  <https://readyfor.jp/>



クラウドファンディングサイト「Readyfor」から、「うなぎ」「柳川」でプロジェクトを検索!

- 一口1,000円の支援からご参加いただけます。
- 金額に応じて、オリジナルハンカチ、Tシャツ、スタッフジャンパーのリターンを用意しています。

「クラウドファンディング」とは

様々な活動をする団体と応援したい人を結び合わせ、インターネットを通じて出資を募る仕組みです。小さな額からの支援も可能で、出資に応じたリターン（お礼）も用意されています。